



馬水の権現神社

益城の文化財

ごんげんじんじや 権現神社

- 馬 水 -

私はなんで鉄砂川のほとりに権現神社があるかと疑問でした。平成22年度に大改修をされました。それで聞いた、調べたりしました。

そのわけが権現神社改修記念碑や古文書の肥後地誌集の「馬水」のところにありました。

古文書(肥後地誌集)では、権現堂は出水(泉)の上であり、諸病をいやす不思議な水であると住民たちが先祖から伝え聞いたと書いてあります。また、記念碑の由来の中には「暴れ川」という表現もあります。この二つのことは矛盾するようですが、私は馬水の先祖の方たちは、自然の力への畏れから権現神をまつり、祈願・感謝の心を表してこられたと思うのです。

そして、今に生きている人たちがそれを後世に伝えるために、多くの奉納金を出し合って改築されたのだろうと思います。

今日では、危険防止のため井戸跡(もと泉)は埋められました。鉄砂川も改修されて氾濫も防げるようになりました。

拝殿に「佑雅安康」と書いた木彫りがあります。「ゆうがあんこう」と読みます。とても深い意味を持ったことばです。先祖の願いであると受け取りました。

10月5日は秋の例祭です。神事・神楽・会食で感謝と絆の祭りがあります。

文化財保護委員

河原 三代志

参考文献

『肥後地誌集』

俳句

早川宏次 選

黄砂舞い木々の青葉もにぎり絵に
代をかく眠る稲田が目をさます
揚げ雲雀空の青さに吸われゆく
筍を探し当てたる土踏まず
じゃが芋の花咲く畔や通学路
たんぼばや風待ち顔に我誘ふ
池の辺にあやめ芍薬空は鯉

惣領 新居 露子
木山 増岡 伸禧
広崎 松原まゆみ
広崎 一丸 寅三
下陳 城 陶子
木山 山口サツキ
惣領 小森英美子

狂句

田上富岳 選

角ん立つ ちっと優しく言えんとか
角ん立つ 親の葬儀に顔出さん
角ん立つ いらんこつまできゃあ言うて
角ん立つ 物は言いよう捉えよう
あきらめた もう手術しか無かごたる
あきらめた 締め切り日には間に合わん
あきらめた かなうはず無か格違ぎゃあ
あきらめた 美人ばかり募集さす
あきらめた 糸が通らん針の穴
あきらめた この長蛇ではのさらんと

宮園 岩本よろこ
寺迫 吉村 丸正
広崎 松原まゆみ
木山 増岡 酔粹
寺迫 吉村 丸正
惣領 小森英美子
安永 井藤 吉郎
広崎 一丸 寅三
宮園 永瀬 美波
惣領 新居 露子

狂句次号の課題 「昔思えば」 「家には内緒」

投稿は役場広報係まで。

投稿締切日は毎月15日です(当日必着)。

※数種に投稿される場合は、別にお送りください。